



平成27年7月21日

各位

上場会社名 株式会社 東京ソワール
 代表者 代表取締役社長 村越 真二
 (コード番号 8040)
 問合せ先責任者 執行役員経営企画本部長 大島 和俊
 (TEL 03-5474-6557)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成27年2月13日に公表した平成27年12月期(平成27年1月1日～平成27年12月31日)の第2四半期累計期間及び通期の業績予想並びに配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,700	330	400	200	10.89
今回修正予想(B)	9,459	205	274	126	6.86
増減額(B-A)	△241	△125	△126	△74	
増減率(%)	△2.5	△37.8	△31.3	△36.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年12月期第2四半期)	9,757	496	579	342	18.65

平成27年12月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,300	170	300	150	8.16
今回修正予想(B)	17,600	△220	△100	△150	△8.16
増減額(B-A)	△700	△390	△400	△300	
増減率(%)	△3.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年12月期)	18,190	134	292	134	7.33

修正の理由

当第2四半期累計期間の業績予想につきましては、昨年4月の消費税増税後の一時的な反動減は想定しておりましたが、婦人服業界における消費の冷え込みはその後も継続したことから、売上高は本年4月以降も回復しない状況が続き、特に当社の主力商品であるブラックフォーマルが予想を下回りました。

利益面では、昨年度に新規出店した直営店経費などの増加分を吸収し、販売費及び一般管理費全体では削減に努めましたが、円安に伴う海外縫製工賃のアップや量販店販路における値引き販売が影響し、粗利率も下回ったことから、営業利益、経常利益及び当期純利益のいずれも予想を下回る見込みとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、このような業績動向等に加え、一部の販売先からの取引条件切り換えで、売上高の計上時期を当社販売時点から小売販売時点へと変更することに伴う一時的な売上高の減少を織り込み、通期の業績予想を下方修正いたします。

(注)本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成27年2月13日発表)	—	4.00	—	4.00	8.00
今回修正予想	—	3.00	—	3.00	6.00
当期実績	—	—	—		
前期実績 (平成26年12月期)	—	5.00	—	4.00	9.00

修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつとして位置付けております。このような認識のもと、第2四半期末と期末の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針として、配当金は財政状態や期間損益などを総合的に勘案して決定しております。

この方針を踏まえ、上記の業績予想の修正に伴いまして、1株当たり第2四半期末及び期末の配当をそれぞれ3円に減額し、年間配当を6円に修正いたします。

(注)本資料に記載されている業績見通し等に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいているものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上